

# 北陸支部報

2016/1/15  
第6号



## 目 次

年頭のご挨拶	鹿田正昭…………… 1
年頭のご挨拶	渡辺信之…………… 2
矢口新会長と支部役員との意見交換会開催……………	3
「公共測量講習会（富山会場）」開催される……………	3
講習会開催状況……………	4
行事等の報告……………	6
会員の状況（平成 27 年 12 月末現在）……………	7
平成 28 年度北陸支部事業計画（案）……………	7
平成 28 年度北陸支部空間情報技術事例発表会について……………	9



公益社団法人

日本測量協会 北陸支部



## 年頭のご挨拶

(公社) 日本測量協会北陸支部長  
鹿田 正昭

新年明けまして、おめでとうございます。

平成 28 年(2016 年)の年頭にあたり、皆様とともに謹んで新春をお祝いいたします。

日本測量協会北陸支部の皆様方には平素から測量系を含む地理空間情報を中心として、多くのご支援とご協力を賜っておりますことに対し衷心より厚く御礼を申し上げます。

昨年度は当協会会長が村井俊二先生より矢口彰様に交代し、一昨年 of プレイベントを経て第 1 回目となる測量・地理空間情報イノベーション大会が開催されました。また、平成 25 年に当協会が公益社団法人として新たに出発したことを契機として、支部活動の活性化を図る目的で「北陸支部空間情報技術事例発表会」を企画し、昨年度は第 2 回大会を富山県で開催することができ、55 名の参加がありました。今年は 6 月 30 日に石川県を会場として実施する予定です。

昨年 of 発表会では富山県に拠点を置く企業から 6 件の発表があり、最優秀発表賞に新日本コンサルタントの藤井淳様(ハザードマップと地理空間情報システムを活用した災害情報管理について)、優秀発表賞に上智の飯澤光央様(測量現場から見たネットワーク型 RTK 法の利活用について)が選ばれました。今年

も開催地である石川県に限らず、北陸支部会員の多くの皆さんからの発表および参加を期待しています。

「北陸支部空間情報技術事例発表会」は会員皆様の自己啓発のために参加・発表していただくことが目的であります。入賞者および発表者には協会本部が募集をしている「空間情報技術事例報告集」へ積極的に投稿していただき、北陸支部における空間情報技術者の活躍を紹介するとともに更なる研鑽を積んでいただくことが最終のゴールです。また、企業のみではなく、北陸支部管内にある大学・高専・短大・専門学校等の学生の方々にも積極的に参加していただきたいと思っています。

以上のように、昨年でも会員の皆様方のご支援・ご協力により新しい企画を実施することができました。ここに改めて会員の皆様方の真摯な取り組みに深く感謝申し上げます。

最後になりましたが、日本測量協会および北陸支部の益々の発展と会員皆様方のご健勝とご活躍、さらにご家族の皆様のご多幸を祈念して、年頭のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしく願いいたします。

金沢工業大学環境・建築学部  
環境土木工学科 教



## 年頭のご挨拶

北陸地方測量部長 渡辺 信之

平成 28 年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

(公社)日本測量協会北陸支部ならびに会員の皆様方には、平素より国土地理院の測量業務や測量行政に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて昨年はゲリラ豪雨による浸水被害、猛暑がもたらした熱中症による犠牲者が出るなど、異常気象による被害等がありました。特に 9 月には台風 18 号から変わった低気圧の影響により、関東・東北地方では記録的な豪雨となり、茨城県常総市では堤防の決壊により甚大な被害が出たのは記憶に残るところです。

国土地理院は、災害対策基本法に基づく政府の指定行政機関となっておりますが、昨年 4 月には地方測量部も指定地方行政機関となり、これまで以上に地域との連携を図り、国や地方公共団体等の防災関係機関が行う防災対策及び国民の防災活動に資するために地形や土地条件に関する情報（各種地図）及び被災状況を表す情報（空中写真等）などに関する防災関連情報を、迅速に関係機関へ提供しているところであります。

北陸地方測量部は国土地理院が提供する地理空間情報（各種地図、空中写真、地理院地図などのツール）が救助・復旧・復興活動に必要なものであることを意識し、災害の発生時には、国土地理院の地方窓口として防災関係機関と連携を図り、少しでも被害が軽減できるように迅速な情報提供に努めて参りたいと考えております。

また、国土地理院では、測量法に基づき平成 27 年 4 月に基本測量に関する長期計画を新たに策定しました。この長期計画には、今後 10 年間における基本測量の目標とそれを達成するための施策として、国土環境が良好に保たれる社会、安全で安心できる社会及び近年関心が高まっている行政の透明化や効率化・高度化等へのニーズの観点から、「地理空間情報の整備力・活用力の向上の全国レベルでの推進」、「新産業の創生や国民生活の利便性向上等のための行政機関などが保有する地理空間情報の流通・活用の促進」の 2 点を重点戦略と位置づけ、国・地方公共団体・民間・学界等との連携を強化して実施する計画となっております。これらの戦略の推進には国土地理院単独では不可能であり、関係機関との積極的な連携が不可欠となります。そして、その取組を支えるのは人材であることから、セミナー・講演会などを通じた人材育成・知識の普及の取組等も実施し、地理空間情報の整備・提供・活用を促進していく必要があります。

北陸地方測量部としましても、測量法及び地理空間情報活用推進基本法を軸に今年も地理空間情報の活用促進に関する北陸地方連絡会議を開催するなど、業界、学界、国・地方公共団体との連携を図りながら測量行政機関としての役割を果たして参りたいと考えております。

会員の皆様方には、改正された基本測量の長期計画の主旨をご理解いただき、様々な機会を捉えて情報交換・情報共有をして参りたいと思っておりますので、昨年に引き続き、何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、(公社)日本測量協会北陸支部の益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

## 矢口新会長と北陸支部役員との意見交換会開催

今年6月に新しく日本測量協会の会長に選定された矢口彰と北陸支部の役員（鹿田支部長他13名）との意見交換会が、10月13日（火）15時45分より17時10分まで富山市のホテルグランテラス富山で行われました。

この意見交換会は、矢口会長が全国の各支部を回り、それぞれの役員と直接会って測量業界の現状を直に聞き、日本測量協会が今後何をなすべきか、業界と共に行ける事を探っていくための参考にするものとして開かれました。

役員からも仕事量の減少、若者の入社離れ、後継者の問題、就労環境の問題等につ

いて、測量業界が抱える深刻な問題が出されました。

また、この意見交換会の開催により、12月に予定されていた支部役員会は、今年は開催しないこととなりました。



## 「公共測量講習会（富山会場）」開催される

日本測量協会測量技術センターでは、「公共工事の品質確保の促進に関する法律「品確法」（平成17年制定）」、「地理空間情報活用推進基本計画（平成24年策定）」を受けて、国および地方公共団体等が作成する公共測量成果の地理空間情報の基盤データとしての利活用の推進をお手伝いするため、測量計画機関の公共測量担当者を対象として、「公共測量講習会」を毎年全国各地で開催しています。公共測量に対する理解を深めていただき、更に測量成果の品質確保を図ることを目的としています。

北陸地方では、11月11日（水）に富山市の富山県教育文化会館で「公共測量講習会（富山会場）」を開催しました。北陸地方での開催は、昨年11月の新潟市に続き2年連続の開催となります。

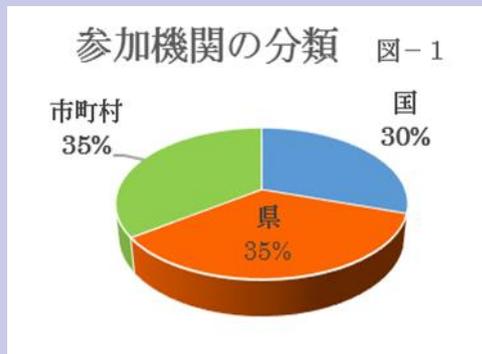
今回の講習会では、北陸地方整備局及び北陸農政局の国の機関、富山県内の土木セ

ンター、富山市をはじめとする各市町村の



公共測量担当者34名が参加されました。参加機関の分類は図-1のとおりです。

当日のプログラムは国土地理院北陸地方測公共測量担当者による「公共測量及び公共測量の手続きについて」と題して、公共測量の実際と公共測量を実施する場合の各種届出の説明がありました。



測量技術センターの成果検定、品質確保担当者からは、「公共測量における基準点測量の実際」、「公共測量における地形測量及び写真測量の実際」として、測量の原理、最新の測量技術の紹介とその概要説明、監督員の確認事項及び実際に成果検定で指摘

される測量ミスや成果の誤りなどの対処方法と防止策についての解説、そして、最後に「公共測量成果の品質確保について」として公共測量を実施するにあたり、計画・設計、仕様書作成、監督・検査業務における成果の品質確保に関わる留意事項の説明と受入検査業務の補助的機能である第三者機関による測量成果検定についての説明が行われました。

参加者に行ったアンケートによると講習会内容についての回答では「満足」、「普通」が9割以上でした。次年度以降も内容をさらに充実させて北陸地方で継続的に「公共測量講習会」を開催していきたいと考えています。

### 講習会開催状況（平成27年7月～12月開催分）

開催日	講習会名	講師	会場	参加者
7月7日	路線測量・用地測量	福島好和	福井市 (市民プラザ)	15名
7月23日	公共測量成果の取りまとめ	益子 栄	新潟市 (新潟テルサ)	29名
8月6日	ネットワーク型RTK法による基準点測量	白井康友	金沢市 (石川県地場産業振興センター)	18名
8月7日	GNSS水準測量	白井康友	金沢市 (石川県地場産業振興センター)	22名
9月1日～2日	デジタルカメラを使った写真測量（応用・野外編）	村井俊治 大谷仁志	新潟市 (新潟県民会館)	20名
9月15日	ネットワーク型RTK法による公共測量	益子 栄	長岡市 (ハイブ長岡)	30名
9月16日	地理空間情報技術セミナー	住田英二 高橋保博 益子 栄	長岡市 (ハイブ長岡)	37名

### ○「公共測量成果の取りまとめ」

7月23日に新潟市にある新潟テルサにおいて、「公共測量成果の取りまとめ」講習会を開催しました。

公共測量成果の品質確保を図るために昨年1月に測量協会から刊行された「公共測量成果検定における指摘事項事例集」の内容を一部例に取り講義を行いました。当協会が日常行っている公共測量成果検定において気の付いた点、留意点等参加者には大変有意義な講習会になったことだろうと思います。



### ○「ネットワーク型RTK法による基準点測量」と「GNSS水準測量」

金沢市の石川県地場産業振興センターにおいて、8月6日と7日にネットワーク型RTK法による基準点測量とGNSS水準測量の講習会をそれぞれ開催しました。

この講習会は、今後利用が多くなって行くであろうと思われる両作業について、作業計画から平均計算他、平均計画図・平均図等の演習なども交えた内容で行いました。



### ○「デジタルカメラを使った写真測量(応用・野外編)」

9月1日から2日まで、新潟市の新潟県民会館において、デジタルカメラを使った写真測量(応用・野外編)を20名の参加で開催しました。

最初に村井前会長より「空間情報技術の最近の話題」と題して、UAVやMMC等の状況について講義がありました。引き続いて、各参加者が持参したカメラのキャリブレーションを行った後、野外での撮影に入りました。その後、データ解析、三次元データ解析、応用データ解析等を行い講習会を終了しました。



### ○「ネットワーク型RTK法による公共測量」

この講習会は、当初は6月に予定していましたが、諸事情により9月15日の開催とな

ったもので、長岡市のハイブ長岡で開催しました。

株式会社ニコン・トリンプルの協力をいただき、実習の行える講習会として例年比較の数多くの参加者が集まる開催となっており、今回は30名の参加がありました。

実習は、会場前のコミュニティ広場において、参加者を3班に分け、直接観測法、間接観測法、単点観測法を各自体験した後、部屋に戻って直接観測法の基準点処理について説明が行われました。



### ○「地理空間情報技術セミナー」

9月16日長岡市にあるハイブ長岡において、「地理空間情報技術セミナー」を参加者37名により開催しました。このセミナーは、公益社団法人新潟県測量設計業協会と共催で開催したもので、日本測量協会及び各県測量設計業協会の会員は無料で参加できるセミナーとなっています。測量協会では、会員の皆様にも少しでもお役に立てられるセミナーの開催を目的に行われており、当支部では毎年、各県順番で新潟県では前回の新潟市に引き続きの開催となりました。

冒頭、新潟測量設計業協会古川会長から挨拶をいただき、その後、測量協会の各講師により、「今、話題の地理空間情報技術」、



「公共測量の最新動向と日本測量協会の継続教育体系」、「測量成果の品質確保等について」講義をおこないました。

## 行事等の報告

### ○とやまみんなの地図作品展を開催

とやま地図作品研究会では、11月21日（土）から23日（月）まで富山市のフューチャーシティ「ファボーレ」1Fときめきの広場において、「第9回とやまみんなの地図作品展」を開催しました。

この作品展は、今年度の応募作品の中から入賞作品に選ばれた13点（小学生8点、中学生5点）を展示したもので、例年、この時期にこの会場で開催しています。多く



の買い物客らが足を止めて、小中学生の作

品に見入っていました。この作品展の様子  
た。

表彰式は、21日10時45分から同施設の  
研修室で行われ、受賞者に賞状と記念品が  
手渡されました。

今回入賞された13作品の中から7作品



がNHKの夕方の番組で放送されていまし  
（小学生6作品、中学生1作品）が、茨城  
県つくば市にある国土地理院の「地図と測  
量の科学館」で1月7日から開催される「第  
19回全国児童生徒地図優秀作品展」に出品  
されます。



## 会員の状況（平成27年12月末現在）

区 分	27.3 末	27.12 末	増減	新潟県	富山県	石川県	福井県
正 会 員	511	520	+9	252 (+7)	115 (+4)	90 (-2)	63 (0)
準 会 員	0	1	+1	0 (0)	1 (+1)	0 (0)	0 (0)
特別会員	178	178	0	81 (+1)	43 (0)	35 (0)	19 (-1)
合 計	689	699	+10	333 (+8)	159 (+5)	125 (-2)	82 (-1)

## 平成28年度北陸支部事業計画（案）

### （1）北陸支部主催講習会計画

講 習 会 名	場 所	時 期（期間）
基礎講座 測量数学・誤差学の基礎（Web）	富山市	4月（1日間）
路線測量・用地測量	三条市	4月（1日間）
実践的な簡易型技術提案書作成	福井市	5月（2日間）
TSによる3,4級基準点測量及び水準測量	新潟市	5月（1日間）
ネットワーク型RTK法による基準点測量	長岡市	7月（1日間）
GNSS水準測量	長岡市	7月（1日間）
基礎講座 ハザードマップ作成の基礎（Web）	富山市	7月（1日間）
基礎講座 洪水ハザードマップ作成の基礎（Web）	富山市	7月（1日間）
公共基準点測量成果のまとめ方	上越市	8月（1日間）
GNSSによる基準点測量	富山市	8月（1日間）

地理空間情報技術セミナー<会員無料>	金沢市	9月(1日間)
初めてのUAVを用いた三次元計測とその活用	富山市	10月(2日間)
測量士答案練習セミナー(We b)	富山市	3月(5日間)
測量士補答案練習セミナー(We b)	富山市	3月(4日間)

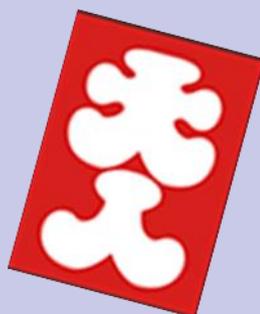
本部主催講習会	場所	時期(期間)
路線測量設計(Iコース)(We b)	富山市	5月(4日間)
路線測量設計(IIコース)(We b)	富山市	6月(5日間)
G I S B課程(Iコース)(We b)	富山市	6月(6日間)
基準点測量B課程(水準測量コース) (実習あり)	富山市	7月(5日間)

## (2) 行事等計画

行事等	場所	開催時期
北陸支部業務報告会	金沢市	6月末
北陸支部空間情報技術事例発表会	金沢市	6月末
北陸支部役員会	富山市	6月上旬 12月上旬
公共測量品質管理優秀賞表彰	金沢市	6月末
公共測量講習会(計画機関対象)	金沢市	11月

## (3) 北陸支部報・北陸支部通信

<b>1. 北陸支部報</b>
7月及び1月にWe bによる刊行を行う。
<b>2. 北陸支部通信</b>
会員への情報伝達手段として、メルマガ「北陸支部通信」を月1回のペースで配信する。
<b>3. ホームページ(測量情報館)のWe bサイト「支部からのお知らせ」</b>
会員への情報伝達手段として、「支部からのお知らせ」欄を充実させ、活用を図っていく。



## 平成 28 年度北陸支部空間情報技術事例発表会

北陸支部では、空間情報技術者の育成と空間情報技術の一層の普及及び情報共有を図ることを目的として、平成 28 年度も「空間情報技術事例発表会」を開催することとなりました。

加えて、この発表会は、測量協会本部が募集をしている「空間情報技術事例報告集」に投稿していただき、北陸支部における空間情報技術者の活躍を紹介することも目的の一つとなっていますので、北陸支部管内の技術者、学生の皆さんの積極的なご応募をお願いします。

### 1. 募集内容

発表者自身の業務上の体験及び研究成果や日頃感じている問題点等の空間情報（地理空間情報及び測量を含む。）に関係した内容とする。

### 2. 応募対象者

北陸支部管内の空間情報技術者又は空間情報関係の学生等で、概ね 40 才未満の者とする。

### 3. 発表時間

一課題の発表は、質疑応答を含め 20 分以内とする（発表 15 分、質疑 5 分）

### 4. 発表日時及び場所（予定）

日時：6 月 28 日(火)15:00～

場所：金沢市(石川県地場産業振興センター)

### 5. 応募

(1) 発表希望者は、3 月末までに北陸支部事務局に所属、氏名、年齢、発表名を申し出る。

(2) その後、発表の決定を受けた者は、5 月末までに発表する内容の概要（要点：200～300 文字）を北陸支部事務局にメールで提出する。

(3) 発表当日の資料(別途標準様式により作成)は、事前（10 日前まで）に北陸支部事務局にメールで提出する。

### 6. 表彰

審査の結果、優れた発表者に対しては、賞状及び副賞を授与する。

#### 《問合せ・応募先》

公益社団法人日本測量協会北陸支部 担当：名取

〒939-8094 富山市大泉本町 1-12-14 測量会館

T E L 076-422-3305 F A X 076-422-3403

E-mail : natori@jsurvey.jp

# 謹賀新年

昨年中は何かとお世話になり、有り難うございました  
今年もよろしくお願ひします  
会員の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます

平成二十八年 元旦



公益社団法人

日本測量協会北陸支部

職員一同

~~~~~ ☒ ~~~~~ ☒ ~~~~~ ☒ ~~~~~ ☒ ~~~~~ ☒ ~~~~~

編集・発行

公益社団法人 日本測量協会 北陸支部

〒939-8094 富山市大泉本町 1-12-14 (測量会館内)

○ 事務局 ・TEL 076 (422) 3305 ・FAX 076 (422) 3403

E-mail [hokuriku@jsurvey.jp](mailto:hokuriku@jsurvey.jp)

○ 技術センター ・TEL 076 (421) 5445 ・FAX 076 (422) 3403

E-mail [hokuriku@geo.or.jp](mailto:hokuriku@geo.or.jp)